

ネットコア通信

連載! インボイス制度 最終回

～将来のデジタル化に向けて～

この「連載! インボイス制度」では、これまで3回に渡ってインボイス制度の概要、自社・取引先のインボイスに関する確認・対処をご紹介してきました。ついに来月10月1日から始まりますが、準備はいかがでしょうか?

国税庁によると、全体で300万いる課税事業者は8割超が、460万いる免税事業者は2割程度が登録を済ませているとのこと(6月末時点・日本経済新聞の記事「インボイスあと2か月」より)。来月の制度開始に向けて、着々と準備が進んでいる印象です。

そこで今回は、一歩前進して「インボイスのデジタル化」についてご紹介しようと思います。これまでも、このニュースレターでDX(デジタルトランスフォーメーション)についてや、電子帳簿保存法の改正に絡めてデジタル化の必要性・メリットをご紹介してきました。近ごろの報道からも、マイナンバー制度(色々と問題は噴出していますが…)やAI関連のニュース等、国内でのデジタル化へのプレッシャーがかなり強まってきている印象を受けます。

実は、このインボイス制度もその一端を担っていると言えます。インボイス制度が始まると、インボイスとそれ以外(現行の区分記載請求書)を区別しなければならず、仕入税額控除可否の振り分け等、買い手にも売り手にもこれまでにない業務負担が生じることになります。そのため、政府では企業間でやり取りする請求書の完全なデジタル化、つまり「電子インボイス」の導入検討を始めています。EUや韓国では既に電子インボイスが定着しているため、これを機に日本もグローバルな展開に追いつこうという意図もあります。

では、電子インボイスには具体的にどんなメリットがあるのでしょうか。

○仕訳計上・消費税計算の業務が自動化できる

インボイス制度が始まると、最も負荷が大きくなると予想されるのが仕入税額控除の計算です。複数税率ごとの処理がある上、様々な経過措置が設けられているため、相当の手間がかかることになるでしょう。その点、電子インボイスは国内で統一された規格になるため、システムに直接取り込み仕訳の起票や計算までを自動化することができ、大幅に省力化できるようになることが期待できます。

○データ改ざんの心配がない

電子データだと、これまでの書面での発行と比べて内

容の変更が簡単にできてしまうのでは、と思われるかもしれませんが、逆に電子だからこそそのセキュリティ管理が可能になります。電子署名を付与して改ざんされていないことを証明できたり、ファイルへのアクセス履歴を記録することができる等、紙で交付するよりもさらに信頼性が高くなると考えられます。

○書類の保管・管理コストが削減できる

一般的に、会計に関する資料は7年の保管義務があります。当社でも、「〇期分」と書かれた段ボール箱が常時7箱以上保管されていますが、電子インボイスになればその必要もなくなります。まず、データの保管にクラウド等を活用すれば、保管スペースやファイリング、期限を過ぎた書類破棄等の手間がなくなります。また、経験者として非常にうれしいポイントは、前期以前の資料を参照したいときに、重い段ボール箱を漁って目当ての資料を探す手間がなくなることです。電子化されていればファイル名や更新時期などから簡単に検索・表示させることができます。

○海外との取引も国内と同様に対応できる

日本の電子インボイスは、世界で広く使われている規格に準拠することになっています。そうすれば、国内・海外と区別をせずにインボイスを発行することができ、やり取りのハードルが下がることが期待されます。

ここまで、電子インボイスのメリットをご説明してきましたが、正直なところ、私個人(と弊社経理担当者)の実感としては、紙とデジタルが混在する過渡期である現在は「ただ手間が増えただけ」という感想ではあります。特にここ数年は、改正電子帳簿保存法への対処も必要になったため尚更です。

ですが、これまでにない新しいことをやっているのだからそれは当然。社会の流れが否応なくデジタル化に向かっている現実があり、またその先には将来的な人手不足が解消された明るい未来が待っているはずで、確かに「デジタル化への一歩を踏み出す=目の前の負担が増える」と分かっている中で、そちらへ舵をきる決断をするのは勇気がいりますが、改正電子帳簿保存法も含め制度の開始は待たなしです。まさに『将来への投資』のため、これを機に考えてみてはいかがでしょうか。



代表取締役
篠崎 みのり



経審太助 V2023.09版 リリースのお知らせ

経審太助でできること

○各種申請書類の作成

建設業許可申請・決算変更届
経営状況分析申請・経営規模等評価申請

○経審対策

評点計算

⇒各評価項目の評点と「総合評点」(P)を計算することができます。

評点アップシミュレーション

⇒目標評点(ランク)達成の対策を検討し、評点の動きを画面で確認できます。

○建設業財務諸表作成

<今回のバージョンアップ>

建設業許可・経営事項審査電子申請システムに対応しました。

(2023年1月改正)

リリース日: 2023年9月1日(金)

※経審太助V2023.01版をご使用のお客様には7月下旬にご案内を送付済みです。

お使いのパソコン Windows 11 へのアップグレードはお済みですか？

Windows 10のサポート終了は2025年10月14日です
サポート終了後もパソコンを使い続けると動作トラブルに！



Windows 11 へアップグレードできる要件

64bit以上、4GB以上のメモリ、などパソコンが満たす必要がある最小限のシステムです。 ※詳しくはMicrosoftのHPをご確認ください。



Windows 11 へアップグレードできるかどうかをチェック

下記手順で確認できます

- ①画面下「スタート」をクリック → ②「設定」 → ③「システム」 →
- ④左下「詳細情報」をクリック → ⑤「デバイスの仕様」をご確認ください。

アップグレード
できない！
買い替える！

アップ
グレード
できる！

アップグレード後、HDや
プリンタなどの周辺機器の
トラブルが起きる事も…
前もって確認しましょう！



お手頃価格なパソコンは早い者勝ち！

パソコン関係の何でも屋

ネットコア

へお気軽にご相談ください！



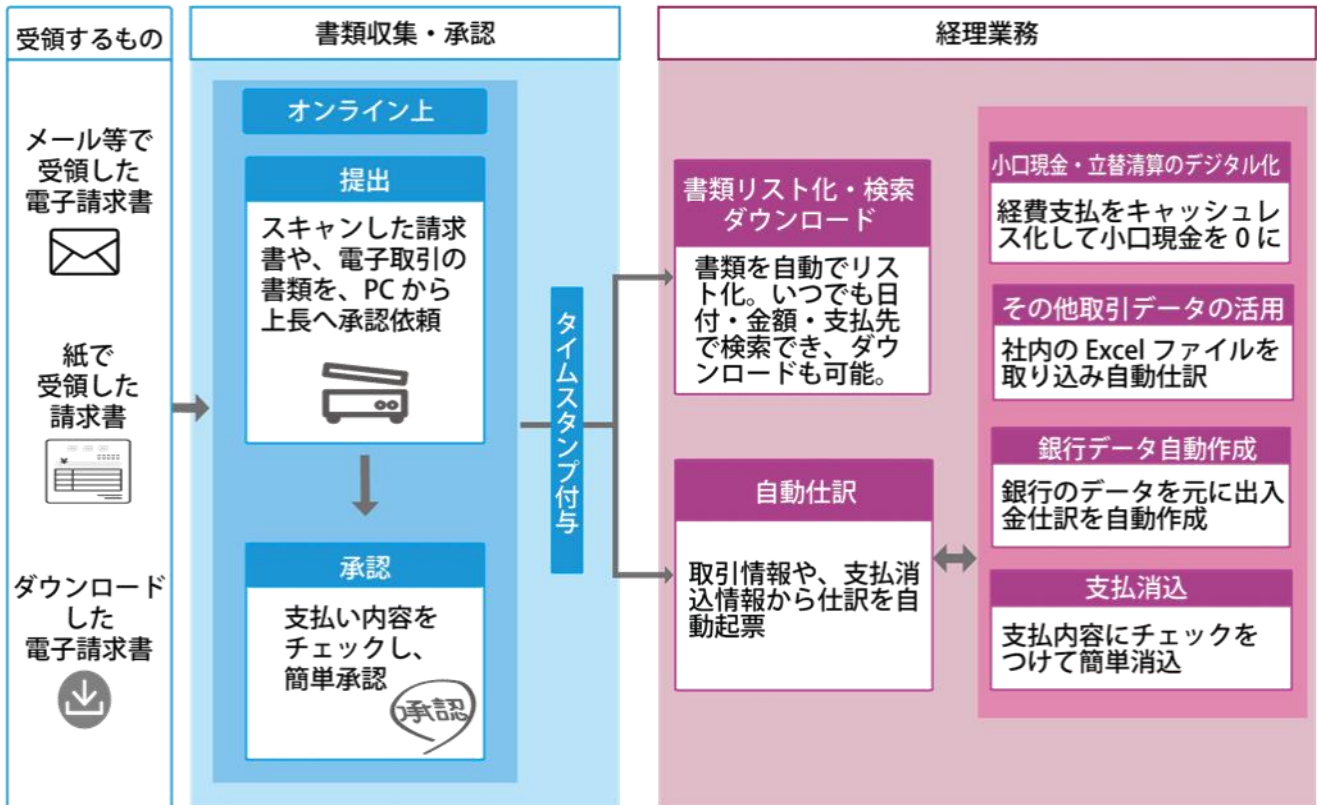
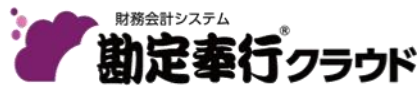
2023年12月で
宥恕期間終了！

押さえておきたい！

電子帳簿保存法

2023年12月で、電子取引保存制度の宥恕期間が終了します。
来年からは、すべての企業、個人事業主が、請求書や領収書などの電子データを取引相手から受領または送付した場合、電子データのまま保存する必要があります。
改正電子帳簿保存法に対応したシステムを導入し、改正の対策を行いましょう！

勘定奉行クラウドなら
改正電帳法に対応した経理DXを実現！



電子帳簿対応はもちろんのこと、経理のDX化によって仕事が効率化されます。残業時間の減少による人件費削減・ペーパーレス化による経費削減等コストカットも見込めます。

なにから始めていいかわからない…
そんな時はまずネットコアにご相談ください！

カスタマーサービス課 地齋(ちさい) TEL:028-649-0111



カスタマーサービス課 地齋(ちさい)

今月号の内容

- 連載！インボイス制度 最終回 ～将来のデジタル化に向けて～
- 経審太助V2023.09版リリースのお知らせ/Windows11へのアップデートはお済みですか？/押さえておきたい！電子帳簿保存法 カスタマーサービス課
- 7/22 ネットコアBBQ大会in鹿沼 厚生委員会

7/22

ネットコアBBQ大会

in鹿沼

ここ数年は社内イベントを自粛していましたが今年は数年ぶりにBBQ大会を行うことができました。

開催場所は鹿沼市にある「花木センター丘の上のバーベキュー広場」。

社員の家族も参加し、総勢、30人ほどになりました。

当日は天気が不安でしたが、雨が降ることもなく適度に晴れた空模様で、とても夏らしいBBQ日和。

BBQが始まってからは、部署の垣根を越えて調理をしたり、火の様子をうかがったり、アイスを差し入れて下さる方がいたり、協力プレーが光りました！

久しぶりの社内イベント開催のため、準備に手間取ったり大変な事もありましたが、参加者全員が楽しめ、社員同士の仲がより深まりました。

厚生委員会 太田諒



準備が男性だったからかお肉多め！小さなお子さんはソーセージがお好みでした。最後は豪華なやきそばに。

白い雲が浮かぶ青空と、山の緑。子供もおとも笑顔で楽しめました！



編集後記

新型コロナの5類移行に伴い、当社に限らず世間で色々な行事が復活しました。会社の行事、地域のお祭り、学校のイベントなどの準備で「あれはどうするんだっけ？」「これはどうしたらいいの？」が出るたびに4年のブランクを感じます。これをコロナ前同様に埋めるだけの空白と捉えるか、見直しや継承の機会としてコロナ前とは一味違った復活とするか。数年後に差異となって表れるかもしれない、と感じています。

発行 株式会社ネットコア

編集 吉田 裕子

住所 栃木県宇都宮市鶴田2-5-24クレインズ21 1F-A
(〒320-0857)

TEL 028-649-0111 FAX 028-649-0303

URL <https://www.netcore.co.jp>

E-mail netcore@netcore.co.jp